

# 『論語』の中身

人間であるからには、たいへん富や地位のある生活を手にしたと認める。

だが、まっとうな生き方をして手にしたものでない限り、しがみつくべきではない。

逆に貧賤な生活は、誰しも嫌うところだ。

だが、まっとうな生き方をして落ち込んだものでない限り、無理に這い上がることはしない。

この言葉を誤解して「富や地位」と軽視して内容と受けとらなければならない。その受けとらなければならない。

あくまで、「富や地位」にのめり込むことを戒めているだけ。いままで

↓  
言い替えると。

道理をともなう富や地位ではない限り、ただ貧賤にいる方がよい。しかし、もし正しい道理を踏んで富や地位を手にしたのなら、何の問題もない。